

庁議の概要

開催日 令和6年4月15日（月）

◎項目

- 1 高知市の関係部局との連携協議について【総合企画部】
- 2 県政運営指針（令和6年改定）の概要について【総務部】
- 3 男性職員の育児休業に係る目標設定について【総務部】
- 4 今週の動き【各部局等】

◎内容

1 高知市の関係部局との連携協議について【総合企画部】

令和6年8月30日に高知県・高知市連携協議会を開催予定である。各部局は5月末までに高知市の関係部局との間で協議の場を設けてもらい、実施結果について報告してもらいたい。

2 県政運営指針（令和6年改定）の概要について【総務部】

今回の県政運営指針の改定ポイントは、「共働き・共育て」の実現に向けての男性育休の取得促進など、県庁において「隗より始める」施策を積極的に推進することや、行政サービスのデジタル化による利便性向上や業務の効率化等、「本県を取り巻く環境変化への対応」が一つ、もう一つは、職員の人材育成策強化や職員が能力を最大限発揮できる職場環境づくりを進める取り組みの強化等、「県庁内の状況変化への対応」である。

主な改定点は、「組織づくり」として総合企画部の設置や定年引上げ制の導入、「人材育成」としてメンター制度の導入等である。

職員が日頃から県政運営指針を意識、確認しながら職務にあたるよう周知徹底していただきたい。

○ 知事

共感と前進で県政を進化させるためにはデジタル化、グローバル化、グリーン化といった時代の変化を先取りしていくことが必要である。

また、県の目指す姿として以前から「元気で豊かな高知県」と言ってきたが、それに加えて、地域共生社会の取り組みなど、人との繋がりを大切にする県民性や、多くの方が多様な価値観を尊重することを県の強味として「元気で豊かな、そして『あったかい』高知県」とした。

各部局で、自分たちの所管の仕事が県民の方々にどう役立っているのか絶えず意識してもらおうとともに、もっと良いやり方がないかも意識して県政を常に進化させていくことに意を用いていただきたい。

3 男性職員の育児休業に係る目標設定について【総務部】

令和5年度の県庁職員の育児休業取得率は、速報値で84.1%となっている。

令和6年度は1週間以上の男性職員の育児休暇取得率85%等を目標と考えていることから、これらを意識した目標設定をお願いするとともに、男性職員が育休を取りやすいよう配慮願いたい。

長期休暇となるとハードルが高く感じるが、繁忙期を考慮した上で期間を分割して取得するといった方法もあるので検討していただきたい。

○ 知事

男性職員の育休取得については政府も力を入れている。

若い女性が定着していただける・帰ってきてもらえる高知県、多様な価値観が尊重される高知県、性別なく役割分担意識がいち早く解消される高知県をイメージし、県庁が率先して男性職員の育休取得を推進し、市町村へ広めていただきたい。

4 今週の動き【各部局等】

〈主な協議の概要〉

○ アニイベントについて【産業振興推進部】

「高知県アニメプロジェクト」が連携している「高知アニメクリエイター聖地プロジェクト」の一環として、4月19日に城西館でアニ魂サミット、20、21日に高知ちばさんセンターで高知アニクリ祭2024等の大きなアニメイベントが開催される。19日は知事、20日は副知事が参加予定。

○ 第1回四万十市新食肉センター整備検討会（仮称）【農業振興部】

4月19日に検討会を実施。今回は新食肉センター整備の意義や基本設計の内容、現時点での事業費見込みを議題とする。今後は、5月下旬予定の第2回検討会で各自治体の事業費負担割合案を四万十市が提示し、6月中に第3回検討会を実施して取りまとめる方針。

○ 知事

第1四半期や今年度中に形を作らなければならない事について素早く取り掛かってもらうとともに、来年度以降に向け、国の関係者との意見交換の中から新しい取り組みについてヒントを見つけていくことも重要であることから、各部長のリーダーシップを発揮していただきたい。